

# むずかしかった竹どうろう

日之影町立日之影小学校 3年  
若杉 一花（わかすぎ いちか）

私は11月29日に、文昭さんと一しょに、竹どうろう作りをしました。最初にドリルで穴を4つ開けました。そして、小さいのこぎりで、その4つの穴を開けた場所を切ります。これで、ろうそくを入れる場所ができあがりです。次に、ペンで丸い穴をたくさんかいて、もようにしていきます。それが終わったら、また、ドリルで、かいた



丸のところに穴を開けていきました。ドリルで穴を開けると、最初は「こわいです。」と言いました。でも、友達が竹をしっかりと押さえてくれたり、ドリルを押し込んでいくのを手伝ってくれたりしたので、私はどんどん穴を開けることができました。すると、最初の「こわい」という気持ちがどんどんなくなっていきました。



竹どうろうが完成すると体育館のステージに持って行き、みんなの作品を並べました。そして、ステージを真っ暗にして、竹どうろうのろうそくに火をつけました。するとみんなが「わああ」と声を出しておどろきました。わたしも「きれえい」と言いました。それは、まるで「光の世界」だと思いました。作り方を教えてくださった文昭さんも喜んでいたので、「竹どうろうはいいなあ」と思いました。それから2年生も見に来て「きれい！」



と言ってくれたので、とてもいい気持ちになりました。最後に竹どうろうを並べて記念写真を撮りました。

私は、竹どうろうを作るのはむずしくて大変だったけど、こんなにきれいなら、また、家でも作ってみたいと思いました。今度は自分で作ったたくさんの竹どうろうを並べてみたいです。